

三木地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和5年10月27日(金)
午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 中央公民館 4階大ホール
- 3 参加者 三木地区 37人
市 22人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、縁結び課長、危機管理課長、経営管理課長、生活環境課長、子育て支援課長、都市政策課長、生涯学習課長)
オブザーバー 11人
傍聴者 7人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 防犯カメラの設置について

【新町地区】

今年度、防犯カメラの補助金申請は何件あったのか。

【市民生活部長】

6件である。

【新町地区】

市で設置する防犯カメラについて、「警察の意見を聞きながら防犯カメラの設置計画を策定する」とあるが、地区の意見を聞くことはできないのか。また、補助金申請が難しいから、件数が少ないのではないか。

【市民生活部長】

市で設置する防犯カメラは一般的に刑法犯の発生が多い箇所に設置を考えている。そのため、防犯に詳しい警察に意見を聞いている。地区要望となると市全体で非常に多くの防犯カメラが必要になり、地区へお聞きすることは考えていないが、設置個所の説明はさせていただく。地区の防犯カメラ

は、これまで同様、必要な箇所について、地区内の合意を得て、補助金を活用し、整備していただきたい。また、補助金申請の手続きについては、生活環境課へ問い合わせさせていただいたら丁寧に説明させていただく。

【市 長】

防犯カメラの設置費補助金は兵庫県、三木市、三木防犯協会の3者で補助を行い、地元負担なしで実施している。現在、令和6年度以降の整備に向け、警察と協議しているので、ご理解とご協力をお願いします。

【新町地区】

警察と地区の目線は違うと考える。地元の意見を聞いていただくことも必要である。また、地元からの申請を待たず、必要な箇所には行政主導で設置推進されたい。

【市 長】

地区の意見を反映させるため、地区要望の箇所は補助金により、進めていただきたい。また、行政主導での設置箇所は警察と協議し、整備する。

イ 歴史的景観形成地区指定に伴う今後の計画について

【新町地区】

回答では、歴史的景観形成の計画の中には無電柱化が含まれていない。しかし、玉置邸の角にある電柱や本要寺向かい側の歩道に電柱がある。歩行者の邪魔になるとともに景観を損ねていると考える。まずは部分的にでも無電柱化ができないか。また、8月に区長協議会の有志で岡山県の高梁市に視察に行った。様々な景観形成の取組をされている様子であった。三木市にも知恵と工夫を出した計画を考えていただきたい。

【都市整備部長】

他市で無電柱化に取り組んだ事例もある。歴史的景観形成地区の重点区域もあるので、他市の事例を参考にしながら検討したい。

【市 長】

無電柱化ができるのであれば、良いことである。だが、子育てや高齢の施策などもある中、限られた財源をどう使うか

も大事と考える。

今回、部分的に無電柱化の実施ができないかとの話もいただいたので、区長協議会やまちづくり協議会で優先順位を決めていただき、市も一緒になって相談させていただきたい。それを受けて、検討を進めたい。

【三木城下町まちづくり協議会】

芝町と平山地区との間で結ばれている住民協定について、景観形成地区の補助金と住民協定地区の補助金について教えていただきたい。

【都市政策課長】

期限があるが住民協定地区の補助率は兵庫県4分の1、三木市4分の1で、併せて2分の1である。景観形成地区の補助率は兵庫県3分の1のみであるが、補助金の上限がかなり増額されている。どちらを申請するかは両者のメリットを勘案し、申請することとなる。町家の修繕は景観形成地区の補助金が手厚いものと考えている。

ウ 中央公民館等複合施設基本構想について

【三木城下町まちづくり協議会】

民間事業者の提案を待つのではなく、市が積極的に地区を盛り上げるような施設提案をすべきであると考えます。三木市には金物と酒米山田錦とゴルフと3つの地域資源があるが、国指定の三木城跡も重要な資源である。三木城跡の活用も視野に入れていただきたい。

【副市長】

中央公民館等複合施設の整備は公共施設4施設を集約し、人口規模や市民ニーズに適合した公共施設とすることを目的としている。これに商工会館の施設が加わり、現状5つの施設を複合する基本計画を作るところである。

この基本計画をもとに、中央公民館と商工会館の敷地活用のためのプロポーザルを民間企業へ公募する。このプロポーザルにはホテルやレストランなどの収益事業の提案も盛り込むよう発注仕様書に明記する予定である。

民間事業者の資金や事業能力を取り入れることが費用面から見ても有益である。このようなことから、民間事業者の

提案を取り入れるということについて、ご理解いただきたい。

【市長】

地区の総意のもとで、市も一緒になって取り組みたい。そのために、まずは地区内の意見の集約をしていただきたい。

【三木城下町まちづくり協議会】

人口に見合った公共施設の縮小については理解できるが、縮小に伴い、活気がなくなることはないようお願いする。複合施設においては民間の活力を活かした事業となることを期待する。

【三木城下町まちづくり協議会】

ホテルができれば、地区内の活性化につながると考える。どうすれば誘致できるかという考えからスタートしてほしい。

【市長】

ホテルの誘致は市としても望んでいる。過去に緑が丘駅でホテルの誘致に働きかけたことはあるが、難しかった経緯がある。まずは事業費を考慮し、公募型プロポーザルを実施し、民間事業者の提案をしていただくこととなる。

エ 市民活動センターの跡地利用について

【新宿地区】

美囊川右岸側の地区は災害時の収容人数が不足していること、防災の説明会で聞いている。今後、市民活動センターの閉鎖もある中、収容人数の不足することのないように解決する方法を検討いただきたい。

【総合政策部長】

市民活動センターがある現状においても浸水想定区域内の最大人数が避難された場合、収容人数が足りなくなる。今後は民間施設などにも避難できるよう、民間施設などと協議を進め、避難所確保に努めたい。

それでも不足する場合は少し遠方の避難所に避難することも検討している。

オ 三木市独自の少子化対策について

【与呂木地区】

三木市で回答にあるような取組をしていることは知らなかった。今後も人口減少対策に引き続き取り組んでいただきたい。

【市長】

施策のPR不足になっていることは申し訳ない。広報みきなどでも市の取組についての特集をしているので、ぜひご覧いただきたい。今後も三木市を次の世代に繋ぐため、市政運営に邁進していく所存である。